

# 公民館だより なかがわ

第514号

令和7年9月1日  
発行 中川地区公民館  
TEL.Fax : 679-2501

## 参加者募集



### 【一般講座】

### 「秋の寄せ植え教室」

日時：9月26日（金）  
13：30～14：30頃 午後からです！  
場所：中川地区公民館前 駐車場  
(雨天時は公民館内)  
講師：佐藤 淳史さん（蘭花園）  
持ち物：園芸用手袋、花切はさみ、飲み物、  
汚れても良い服装（エプロンなど）  
材料費：2,500円（つり銭のないようにお願いします）  
対象：中川地区民  
定員：先着 15名程度  
締切日：定員になり次第受付終了



参加者から毎年好評の教室です。  
お花の育て方なども質問できます！

昨年寄せ植えです

### 「中川福祉村大運動会」

日時：10月5日（日）9：00～  
場所：中川地区公民館 広場  
内容：花笠音頭  
〇×クイズ  
綱引きチャレンジ  
紅白まり入れ  
村長とジャンケン大会  
など、昨年の内容に加えて、  
新たな競技も…!?  
対象：中川地区民

入賞賞品や参加賞が  
ある競技もあるよ！！



※詳細は、地区回覧チラシをご覧ください！

お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

### 9月・10月行事予定



9/1(月)	市報、館報 福祉村運動会全体会議	10/1(水)	市報、館報 三者会、会長会、公民館運営協議会
9/3(水)	粋いき倶楽部（職員不在時間帯あり） 三者会、森開公総会、会長会	10/5(日)	中川福祉村運動会
9/4(木)	中川シニア研修（1泊2日） （※4(木)～5(金)職員終日不在）	10/10(金)	福祉村産業まつり実行委員会
9/9(火)	ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）	10/14(火)	ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
9/16(火)	そば打ち愛好会	10/15(水)	グラウンド・ゴルフ愛好会大会
9/19(金)	パソコンクラブ 文化産業まつり代表者会議	10/17(金)	パソコンクラブ 中川地区地域推進会議
9/20(土)	少年少女球技大会「グラウンド・ゴルフ」	10/21(火)	そば打ち愛好会
9/26(金)	一般講座「秋の寄せ植え教室」(午後)	10/24(金)	粋いき倶楽部（職員終日不在）
		10/27(月)	子ども会育成会
		10/31(金)	一般講座「フラワーアレンジメント」 市報、館報 三者会、会長会

グラウンド・ゴルフ愛好会  
(月曜日) 9/1、8、17(水)、22、29  
詩吟教室 (火曜日) 9/2、16、30

ラーズピンポン愛好会(木曜日) 9/11、18、25  
スポーツ麻雀愛好会 (木曜日) 9/11、18、25



# 敬老の日（9月15日）おめでとうございます！

中川地区敬老対象者（80歳以上） 542人 （令和7年6月13日現在）

〈各地区・施設 賀寿対象者人数〉

糸目地区（米寿2名）	仙石地区（米寿3名）	泉川地区（米寿1名、白寿1名）
金谷地区（米寿1名、白寿1名、満100歳1名）	甲石地区（米寿2名、白寿1名）	
高野地区（米寿8名、白寿1名、満100歳1名）	薄沢地区（米寿2名）	
永野地区（米寿1名、白寿1名）	蔵王地区（白寿1名）	小倉地区（米寿1名、白寿1名）
棚木地区（米寿2名）	長寿園（米寿2名、白寿1名）	蓬仙園（米寿3名、白寿3名、満100歳1名）

80歳以上の敬老対象の皆様へ、9月中旬頃に敬老祝品を各地区会長会よりお届けいたします。  
 中川地区のこれまでの発展は、皆様方のたゆまぬ努力のおかげです。  
 中川地区公民館は、より一層中川地区が向上できるよう様々な事業に取り組んで参りますので、  
 皆様方におかれましては、どうぞ末永くお元気で過ごしてくださいませよう心より祈念申し上げます。

## 【一般講座】「第1・2回スマホ教室」

第1回は7月29日（火）、第2回は8月19日（火）にソフトバンク(株)よりそれぞれ2名の講師に来ていただき「スマホ教室」が開催されました。デモ機を使用しての講習で、まだスマホを持っていない方の参加も可能な基本の講座にプラスして、第1回はキャッシュレス体験、第2回はネット詐欺対策について教えていただきました。講師の方の楽しいトークに加え、とてもわかりやすい説明であつという間の2時間でしたが、特に、ネット詐欺対策については、日頃から不安に思っている方も多く、参加者はメモをとりながら熱心に聞いていました。とは言え、「覚えたつもりでもすぐ忘れてしまう」との声もあり、1、2回の講習で覚えられるものではありません。公民館でも毎年、講習会を開催していきたいと思っていますので、毎回参加してたくさんスマホに触れて、習ったことをどんどん使ってスマホに慣れていきましょう！！

第1回目



第2回目



## わんぱく広場「花火祭り」

7月29日（火）わんぱく広場『花火祭り』を開催しました。例年にない猛暑日の連続でしたが、日が沈む頃には気温も落ち着き、絶好の花火日和となりました。夜の事業に沢山の子どもが集まり、早く花火を始めたい気持ちが大きくソワソワ。消防団の方から、注意する点のお話を聞き、いざスタート！！『始めま〜す！！』の合図と共にパラシュート花火を打ち上げ、打ち上げ花火、自持参していただいた花火で家族はもちろん、友達と一緒に楽しく過ごすことができました。『楽しかった〜♪』『もうちょっとやりたいなあ〜♪』とたくさんの言葉をいただきました。最後は館長とじゃんけん大会！景品の争奪戦となり楽しい夏休みの思い出の1ページになってくれるといいなと思っています。最後に役員の皆さん、同伴して下さった保護者の皆様、消防団の木村さん武田さん、地域づくり推進員の武田さん、暑い中ご協力いただきありがとうございました。来年もまた開催したいですね〜🍡



# 第4回 粋いき倶楽部

8月22日(金)第4回粋いき倶楽部では、山形大学付属病院 脳神経外科学講座の助教 佐藤 慎治 医師をお迎えし、アンケートで一番多かった「脳卒中予防のためにできること」のテーマで、健康講座「すこやか教室」が開催されました。脳卒中とは?から始まり、どんな症状がでたら脳卒中を疑うのか、症状がでたらすぐに病院へ行くことで良い治療結果が期待できること、最新の治療方法など、たくさんのことを教えていただきました。そして、血圧が高いほど脳卒中の危険性が高まるため、常日頃の生活習慣の見直しが必要となります。会員さんはメモを取りながら真剣に聞き入っていました。今日からできることを取り入れて、脳卒中予防をしていきましょう。



～脳卒中の危険因子～

血圧	不整脈
喫煙	血糖
お酒	脂質



## 中川地区ソフトボール大会

8月24日(日)、第48回中川地区ソフトボール大会が、特別参加で藤庄印刷(株)のソフトボールクラブの皆さんをご招待し、「甲石」「高野」チームの参加で開催されました。まずは甲石と高野の2チームでの試合の後、甲石・高野の合同チームと藤庄ソフトボールチームの戦いとなりました。地区2チームでの試合は優勝甲石、準優勝は高野となりました。合同チームと藤庄ソフトボールチームとの試合では、合同チームの勝利となりました。朝から暑い中ではありましたが、藤庄ソフトボールクラブの皆さんが参加して下さいたことでいつもよりも楽しんで試合ができたようです。参加して下さいた皆様、朝早くから準備して下さいた関係者の方々、大変ありがとうございました。来年こそはもっとたくさんの参加者をお待ちしております!!



藤庄ソフトボールチーム



甲石チーム



高野チーム

### 市道上生居堀切線・市道永野開拓線 整備促進期成同盟会総会開催

8月25日(月)、市道上生居堀切線・市道永野開拓線整備促進期成同盟会総会が26名の参加で開催されました。初めに、現地の視察をした後、公民館にて令和6年度事業報告、7年度事業・収支予算計画(案)の審議、役員選出等が行われました。



## 『民生児童委員』 もっとも身近な相談相手です!



民生児童委員に相談してもいいかなと思った事はありませんか?

こんな事相談しても大丈夫かなと躊躇してしまう事はありませんか?

民生児童委員は地区における身近な相談相手です。高齢者・障がいのある方・子育て、介護生活の困り事などに対して必要な支援を行っています。そして、適切な関係機関との繋がりとなる役割を担っております。身分としては厚生労働大臣から民生委員法に基づいて仕事を任せられている非常勤の地方公務員という扱いです。任期は一期3年です。

また、相談内容の秘密を守ることが法律上義務づけられています。

**安心して、気軽に地区の民生児童委員にご相談下さい。**

「昭和考、問わず語り（その55）」

甲石地区 高橋 正之

昭和十二年七月に勃発した盧溝橋事件は、その後華中にまで飛び火しやがて中国全土を舞台にした日中戦争へと発展します。本稿は、その後の戦域の拡大と南京における日本軍の中国人虐殺事件について記述します。

〈上海の陥落〉

日中戦争の緒戦となった上海での戦闘は、昭和十二年八月半ばから約三ヶ月続きました。この間、日本軍は海軍の上陸隊と陸軍の部隊を救うべく二個師団からなる上海派遣隊を派遣し、また九月には、さらに六個師団を投入するなど計二十万人の兵力で、中国軍約七十万人が防衛する地域に侵攻しました。そして当初は、航空戦で虚を突かれ、また陣地戦に苦しみますが、次第に中国軍を押し返し、十一月には中国軍が撤退して上海は陥落します。この戦闘における日本軍の死傷者は約四万人、中国軍死傷者は十九万人とも二十三万人ともいわれています。

〈南京陥落〉

追撃態勢に入った日本軍は、三方から国民政府の首都・南京に迫り、十二月初めには二十万の軍勢で市を包囲、総攻撃をかけます。日本軍の一部が城内に突入したところで、南京守備隊十五万人は南京を放棄して退去し、十三日には、日本軍は南京に入城します（写真①は、南京城に迫る日本軍）。その後の掃討戦で日本軍は、「南京事件」を引き起こします。（加藤陽子著「とめられなかった戦争」文春文庫刊）

〈南京事件、日本軍の市民大量虐殺〉

日本軍が南京に入城したところ、日本国内では、南京陥落の祝賀が全国的に行われ、お祭り気分にあふれていた。しかし、そのころ現地南京では、恐ろしい事態が展開されていた。「ナンキン・アトロシティ」として世界中に知られた、日本軍による中国人大量虐殺事件である。この事件は、多くの外国人に目撃され、多くの写真や手記が残されている。近年に至って、日本の国内で南京事件はなかったとの声の間かれたが、現に九死に一生を得た中国人の証言も多数ある。イギリスの「マンチェスター・ガーディアン」記者・ティンパリーの「外国人の見だ日本軍の暴行」のなかの、ある手紙にはこう述べている。

- 「多くの人は、日本は従来とも秩序と組織を誇る国家であるから、日本軍の南京攻略にあたっては妙なことはあるまいと安心し、また戦争の緊張、空爆の危険も近く終わると考えていた。（中略）然るに日本軍の入城後二日間にして我々の希望の総ては無慙にも破れてしまった。絶えざる虐殺、大規模の計画的掠奪、家宅侵入、婦女凌辱等一切は総て無統制であった。外国人居留民は事実その目で路上に充満する良民の死体を見た。南京中区では、辻毎に必ず一個の死体が転がっていた。その大部分は十二日午後及び夜間、日本軍の入城時に銃殺若しくは刺殺されたものであった。恐怖と興奮のために駆け出せば射殺され、また夜間日本軍の巡邏は、人さえ見れば発砲する可能性さえあった。」
- 日本軍は、入城と同時に、逃げ遅れた中国兵、捕虜を殺し、また市民のなかに便衣隊（平服を着用して敵地に侵入し、後方攪乱の任務につく部隊）が多数まぎれこんでいるとして市民を多数殺した。また、こうした軍閥係以外の一般市民を幼老男女の別無く殺傷し、ことに女性に対する凌辱行為はひどく、犯しては殺して放火するなど、その蛮行は中国民衆の対日敵愾心をつのらせ、日本への抵抗を貫きとおす源泉ともなった。
- 南京虐殺の事実とは伏せられて、新聞、ラジオ等ではいっさい報道されず、日本国民がそれを知ったのは、戦後の極東国際軍事裁判においてだった。南京占領後六週間の間に殺害された中国人は三十万人ともいわれ、その責任を問われて中支那方面司令官・松井石根大将は絞首刑に処せられた。（写真②は揚子江岸に打ち上げられた死体）
- こうした虐殺行為へ日本兵をかりたてた原因としては、次のようなことがあげられよう。
- ① 上海から南京に至る間の大激戦による多くの流血。
  - ② 華北・上海での戦いの間、日本軍は便衣隊のゲリラ戦に悩まされた。
  - ③ 急激な戦線の展開に補給が追いつかず、現地調達で日本兵がやっと食糧を入手するほどで、捕虜の食糧など皆無の状態だった。
  - ④ 激しい長期戦の結果起こりうるであろう事態に對して、軍中央や現地軍司令官らの事前の防衛策がとられなかった、等々である。

死との隣りあわせの戦争が、人間の獣性をひき出す事実を、否応なしにさらした悲劇のひとつが、この南京虐殺事件であったといえよう。（昭和二年の全記録」講談社刊より。写真も同書より。）

〈中国政府による記念式典の開催〉

中国政府は、令和七年を「抗日戦争勝利八十年」と位置づけ、宣伝活動を強化している。令和七年七月七日には、政治局常務委員を派遣し盧溝橋近くにある「抗日戦争記念館」において式典を開催した（同年七月八日付け読売新聞より）。

（次回は、戦争の長期化と近衛内閣の対応について記述する予定です。）



(写真①)



(写真②)